



## 2023年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年6月14日

上場会社名 株式会社 アルデプロ

上場取引所 東

コード番号 8925 URL <https://www.ardepro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 椎塚 裕一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員企画本部長 (氏名) 荻坂 昌次郎

TEL 03-5367-2001

四半期報告書提出予定日 2023年6月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年7月期第3四半期の連結業績(2022年8月1日～2023年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期第3四半期	13,963		1,076		622		256	
2022年7月期第3四半期								

(注) 包括利益 2023年7月期第3四半期 256百万円 ( %) 2022年7月期第3四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期第3四半期	8.09	
2022年7月期第3四半期		

(注) 2023年7月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年7月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年7月期第3四半期	21,183	7,084	33.4
2022年7月期			

(参考) 自己資本 2023年7月期第3四半期 7,084百万円 2022年7月期 百万円

(注) 2023年7月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年7月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年7月期		0.00		20.00	20.00
2023年7月期		0.00			
2023年7月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年7月期の期末配当金20.00円には記念配当5.00円を含んでおります。

### 3. 2023年7月期の連結業績予想(2022年8月1日～2023年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000		3,400		3,000		2,400		75.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2023年7月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年7月期3Q	33,723,415 株	2022年7月期	33,723,415 株
期末自己株式数	2023年7月期3Q	1,974,497 株	2022年7月期	1,969,718 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年7月期3Q	31,751,419 株	2022年7月期3Q	31,760,543 株

(注) 当社は、2022年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前事業年度期首に当該株式併合が実施されたものと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料2ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析を行っておりません。

また、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が一層緩和され個人消費や設備投資を中心に持ち直し、企業収益は緩やかに改善しております。一方、国内においては消費者物価の上昇に伴い個人消費が減退する恐れがあるほか、欧米を中心にイン플레이ションを抑制するための金融引き締め等が続くなど、先行きの景気動向には不透明感が存在しております。

こうした状況下、当社グループは東京都心部をはじめとする首都圏や関西地区を中心に権利調整案件や収益用不動産などの販売用不動産の売却活動及び仕入活動を進めてまいりました。当第3四半期連結累計期間においては、激化する不動産仕入競争に対応するため、不動産を所有する会社を買収しその不動産を売却するというビジネスも始めております。

売却活動につきましては、東京都千代田区、港区、渋谷区、文京区、品川区、中野区、荒川区や神奈川県、関西地区等に所在する販売用不動産等を売却してまいりました。

以上から、売上高は139億63百万円、営業利益は10億76百万円、経常利益は6億22百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億56百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

#### ①不動産再活事業

上記のとおり、東京都千代田区、港区、渋谷区、文京区、品川区、中野区、荒川区や神奈川県、関西地区等に所在する販売用不動産等を売却いたしました。

以上から、不動産再活事業の売上高は135億70百万円、営業利益は12億17百万円となりました。

#### ②不動産賃貸収益等事業

不動産賃貸収益等事業は、当社グループが保有する不動産物件に係る受取賃料収入や収入手数料等で構成されております。不動産賃貸収益等事業の売上高は3億93百万円、営業利益は3億67百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は188億12百万円となりました。主な内訳としては、現金及び預金が20億63百万円、販売用不動産が165億14百万円などです。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は23億70百万円となりました。主な内訳としては、のれんが9億52百万円、長期貸付金が8億16百万円、繰延税金資産が6億90百万円などです。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は91億33百万円となりました。主な内訳としては、短期借入金が34億40百万円、1年内返済予定の長期借入金が45億48百万円などです。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は49億65百万円となりました。主な内訳としては、長期借入金が48億35百万円などです。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は70億84百万円となりました。主な内訳としては、資本金が24億28百万円、資本剰余金が2億94百万円、利益剰余金が53億70百万円、自己株式が△10億7百万円などです。以上の結果、自己資本比率は33.4%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年10月28日に公表した2023年7月期連結業績予想値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2023年4月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	2,063,603
販売用不動産	16,514,210
その他	234,816
流動資産合計	18,812,630
固定資産	
有形固定資産	74,301
無形固定資産	
のれん	952,650
その他	4,307
無形固定資産合計	956,957
投資その他の資産	
その他	1,892,650
貸倒引当金	△552,961
投資その他の資産合計	1,339,689
固定資産合計	2,370,947
資産合計	21,183,578
<b>負債の部</b>	
流動負債	
短期借入金	3,440,000
1年内返済予定の長期借入金	4,548,823
未払法人税等	186,327
賞与引当金	5,020
その他	953,738
流動負債合計	9,133,908
固定負債	
長期借入金	4,835,545
退職給付に係る負債	26,870
その他	102,814
固定負債合計	4,965,229
負債合計	14,099,138
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	2,428,102
資本剰余金	294,072
利益剰余金	5,370,197
自己株式	△1,007,962
株主資本合計	7,084,410
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	29
その他の包括利益累計額合計	29
純資産合計	7,084,439
負債純資産合計	21,183,578

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2022年8月1日 至2023年4月30日)
売上高	13,963,246
売上原価	12,171,502
売上総利益	1,791,743
販売費及び一般管理費	715,728
営業利益	1,076,015
営業外収益	
受取利息	1,970
雑収入	38,005
営業外収益合計	39,976
営業外費用	
支払利息	169,815
支払手数料	129,341
消費税相殺差損	29,264
貸倒引当金繰入額	148,435
持分法による投資損失	15,240
雑損失	1,332
営業外費用合計	493,429
経常利益	622,561
特別利益	
債務免除益	7,704
特別利益合計	7,704
特別損失	
固定資産除却損	495
段階取得に係る差損	183,977
特別損失合計	184,473
税金等調整前四半期純利益	445,792
法人税、住民税及び事業税	163,920
法人税等調整額	25,140
法人税等合計	189,061
四半期純利益	256,731
非支配株主に帰属する四半期純利益	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	256,731

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)
四半期純利益	256,731
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△25
その他の包括利益合計	△25
四半期包括利益	256,706
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	256,706
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、これにより四半期連結財務諸表に与える影響はありません。